

ふくサポ通信



にゃんこ隊長が行く！

特定非営利活動法人 ささえ愛カフェ

～地域の誰もが笑顔で暮らせるまちづくり～



代表 松田 氏

特定非営利活動法人ささえ愛カフェは、地域の誰もが笑顔で暮らせるまちづくりに寄与しようと平成28年7月に法人設立され、今年で活動11年目を迎えました。高齢者や生活弱者の方々の声に耳を傾け、日常生活面でのサポートを続けながら、令和5年に活動拠点を福島市野田町事務所に移し、これを機に、認知症カフェに新たに子ども食堂も加えた「誰でも子ども食堂」として、現在は、月2回（第1・3水曜日）開催しています。

ボランティアを加えたおよそ20名が参加しており、前半は高齢者の茶話会を中心に、後半から子ども食堂とすることで、お年寄りにとっては、とても待ち遠しい時間になっているそうです。子ども食堂の運営にあたっては、試行錯誤を繰り返しながらも、「ふくしま子ども食堂ネットワーク」「福島市子ども食堂NET」の力添えをいただき開催できていると、皆様の支援にとっても感謝していると語っておられました。

また、福島希望赤十字奉仕団の地域活性化事業としてスタートした道路沿いの花壇づくりは、小さな花壇も含めて現在は全5カ所をボランティアの皆さんと管理し、地域のきずなづくりに貢献しています。車を運転する方々の視界を邪魔しないように気をつけながら、花壇の剪定や雑草取りなど、年間50回ほどの活動を実施しており、体が続く限り続けていきたいとのことでした。

こうした活動を続けている代表の松田さんですが、介護支援専門員（ケアマネージャー）の立場から、利用される方々、特に高齢者の暮らしに寄り添うとはどういうことなのか、最近、これまでに以上に考えるようになったそうです。

「その方が送ってこられた人生や価値観を尊重し、心身の状況やご家族を含めた生活環境を深く理解したうえで、その人らしい暮らしを考え支えること、それが私たちの仕事なのです」と語ってくれました。



特定非営利活動法人ささえ愛カフェ

〒960-8055

福島市野田町字八天32-11

TEL 024-558-7656

FAX 024-563-3674



協働のチカラ

染織工房おりをり「若者支援×若者の力を借りる」

養蚕文化の継承と地域資源の価値創出に力を注ぐ「染織工房おりをり」、理事長の鈴木さんは、25周年という節目を迎えた昨年、同団体をNPO法人化しました。これまでボランティアを中心に協力を得て運営をしてきましたが、将来へ後継者をつないでいくために法人化が必要だったと語ります。「この地域において養蚕の担い手であった方々が高齢となられ、80～90代の方々の知見や技術を継承するには、あと数年が勝負。時間的な制約もある中で、やりたいことをいろいろ試すには、財務体質も含めて強固な組織にする必要がある」と判断したとのことでした。

作業工程では手を抜かず、しかし、団体としてやらなければならないことは皆で分担して進める。そこで、協働の担い手として力を借りたのが「若者のチカラ」でした。

鈴木さんは、併設する施設へ民泊に来た若者たちと会話する中で、自分たちは持っていない様々な力があることに気づき着目しました。社会に馴染みにくさを感じてここを訪れる若者もいたようですが、そうした若者の潜在能力を見出し、仕事の一部を任せる事で自己効力感を深めさせ、その後の就職への意欲の掘り起こしにつなげていく。SNS発信や広報サポートの仕事を担ってもらうケースでは、「染織工房おりをり」にとっても若者にとってもWin-Winのすばらしい関係で仕事が出来たとのことでした。繭から真綿紡ぎや糸をつむぎ、商品化して手仕事市でお客様に買っていただく。この仕事をした経験から絹織物への関心を高め、京都の絹織り業社に就職した若者もいたそうです。

鈴木さんの「協働のチカラ」からの学びは、スモールステップで対話を重ねていくことです。出会いをつくり、関係を育み、自己効力感と自己有用感を高める。若者が持っている力を信じ託してみる。同じ目的のためにそれぞれに役割を分け協力し合う。「協働」の真価がここあると感じました。



理事長 鈴木 氏



スモールステップで対話を重ねる

出会いをつくる

- ☆団体と多様な個人が
出会う
- ☆多様な価値観や仕事に
触れる機会をつくる
- ☆自分らしさや将来を
考えるきっかけを
つくる

関係を育む

- ☆自分を知り、自団体
への理解を深める
- ☆個人や団体の課題を
身近な社会問題だと
捉える
- ☆継続的なかわり
につながる信頼関係
を育む

社会と関わる

- ☆自己効力感と自己
有用感を大切にする
- ☆互いの強みを活かし、
社会と関わる
- ☆課題解決で持続性を
維持する



ふくサポでは、講座の開催や助成金など、皆さまのお役に立てる情報を随時発信しています。
ぜひご登録ください♪



website



Facebook



X

令和8年度 講座案内

募集開始前

▶ 信夫山を歩こう！

秋の信夫山を散策しませんか？

お昼休憩は烏ヶ崎で景色を堪能♪福島市のシンボル信夫山の歴史と魅力に触れます。

日 時：10月24日（土）10：00～13：00

案内人：山尾良平氏（フットパスを楽しむ会）

定 員：10名 参加費：無料

▶ 市民活動トークセッション

地域の課題解決に取り組む団体や職員の成功・失敗談の事例紹介、登壇者トークセッションを通じた深掘り、参加者それぞれが必要なことを学ぶ時間にします。

日 時：10月29日（木）14：00～16：00

登壇者：NPO法人代表2名、地域おこし協力隊1名

定 員：30名 参加費：無料

▶ NPOのための会計基本講座 ※協力講座（主催／福島県 運営／ふくしま地域活動団体サポートセンター）

報告書を意識した日々の会計業務やそのコツ、信頼を得られる報告書の作成方法を学び、会計から強い組織をつくることを目指します。

日 時：11月12日（木）14：00～16：00

講 師：大野覚氏（認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ常務理事・事務局長）

定 員：20名 参加費：無料

▶ オープンセミナー

「AIとともに生きる社会 私たちの生活はどう変わる！？」

近年、人工知能は私たちの身近な場で急速に活用が進んでいます。

AIを正しく理解し、“便利さ”と“リスク”の両面を知り、AIと上手に付き合う方法を学びます。

日 時：11月28日（土）14：00～16：00

登壇者：高橋剛氏（東北コピー販売株式会社代表取締役社長）

定 員：40名 参加費：無料

※講座内容は変更になる場合があります

ふくしま市民活動フェスティバル2026

小さな活動×大きな出会い みんなが主役のまちづくり

今年もふくしま市民活動フェスティバルの開催が決定しました。
新たな企画とともに、皆様のご来場をお待ちしています。

開催日時：

2026年11月3日（火・祝）午前10時～午後4時

会場：

福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ
（福島市曾根田町1-18 MAXふくしま4階）



website



Instagram

<お問い合わせ> ふくしま市民活動フェスティバル2026事務局 TEL 080-9637-6139

福島市との共創を探る

～市民活動活性化支援事業～

『選べる教育のカタチ TOKI SHIMIZU TALK&LIVE』 ネクスト 編

みんなの居場所「あつまーる」は、2023年11月から、不登校や学校に行きづらさを感じる子どもたちの居場所づくりを開始し、2024年に任意団体として本格的に活動をスタートしました。

「居場所づくり」「笑顔づくり」「社会づくり」を活動の柱に掲げ、子どもも保護者も安心して過ごせる居場所づくりに取り組んでいます。2025年から社会福祉法人ゆめみの里の一員となり、より安定した体制のもとで活動を続けていきます。

令和7年度福島市市民活性化支援事業では、『選べる教育のカタチ TOKI SHIMIZU TALK&LIVE』ネクストと題して、生涯一度も学校教育を受けず、ホームスクーリングという学びを実践してきたシンガーソングライターの清水十輝さんを迎え、トーク&ライブを開催しました。

「選べる教育のカタチ」という新たな選択肢があることは、多様な学びの場の必要性について考える機会の創出、不登校の子どもを持つ保護者にとっては、不安が希望へと変わるきっかけづくりになったと考えます。また、不登校支援や居場所づくりに取り組む他団体も参加し、各ブースでは来場者が直接相談したり交流できる場が設けられました。当日はスタッフを含め86名が参加し、支援団体同士のネットワーク強化にもつながりました。

近年、不登校や学校に行きづらさを感じる子どもは増加傾向にあります。「あつまーる」には、学校へ行けなくなり、不安を抱えた親子が数多く訪れます。同じ経験を持つ保護者同士がつながり語り合うことで気持ちが軽くなり、子どもたちも安心して過ごす中で少しずつ笑顔を取り戻していきます。その後は学校へ復帰する子ども、学校とあつまーるを両立しながら自分のペースで成長していく子ども、それぞれの特性にあった学びの場へとつないでいきます。週に一度の子ども会のように、『ここへ来るとほっとする』と思える居場所であり続けたいと話す代表の岩下さん。その言葉どおり、会場には笑顔あふれる親子の姿があり、子どもたちは思い思いに楽しい時間を過ごしていました。



社会福祉法人 ゆめみの里
みんなの居場所 あつまーる
TEL : 024-505-0484
(平日8:00～17:00)



※市民活動活性化支援事業とは…多様化する地域課題に対して公益的な活動を行う市民活動団体を福島市が支援する事業です

編集後記

- ◆ 新しいお二人との出会い。実は過去に繋がっていた事実に驚き！（まさお）
- ◆ 夏の終わり、またひとつ年を重ねる（M）
- ◆ 過ぎ去る時間の速さにのみこまれず、楽しい自分時間を満喫したい。（s）

福島市市民活動サポートセンター ふくサポ通信 vol.123

発行日／2026年8月31日 編集／認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター
発行／福島市市民活動サポートセンター 〒960-8041福島市大町4-15チェンバおおまち3階
TEL 024-526-4533 FAX 024-526-4560 MAIL info@f-fukusapo.com URL <https://www.f-ssc.jp>